平成２８年２月２９日　　No. ９９

希望

新宿区立四谷小学校　　学校だより

主体的に活動する子供たち

校長　持田　裕代

三寒四温の言葉通り、ひと雨ごとに暖かさが増す季節となりました。春に向かうこの時期は、卒業関係の行事がいくつかあり、６年生の子供たちは行事が一つ終わるたびに、巣立ちへの心の準備ができていきます。

今年は、９５名の６年生が卒業します。６年生は、１年生のお世話をするのはもちろんのこと、委員会やクラブ、縦割り班のリーダーでした。各委員会では、当番活動もありますが、学校のみんなのためにできることを工夫しました。自主的な活動として、環境委員は登校時に中庭の掃除をしました。代表委員会は「えがおであいさつ大作戦」に取り組み、各学級で決めためあてを玄関に掲示して全校で実践しました。放送委員はその取り組みに協力して毎朝「あいさつは魔法の力」の曲を流しました。子供たちは自分たちの知恵と力で学校をよりよく変えられることを実感しました。

３月は、６年生が中心となって創り上げてきた活動を下学年に引き継いでいく時期です。一番学んでほしいのは自分から積極的に関わり「主体的に行動する力」です。この力は、教師の適切な指導のもとで、子供たちに見通しを示し、実践できたことを価値付け、自信をもたせることで育てています。今後も、教師一人一人が互いに指導力を磨き合い、子供たちの力を確実に伸ばせるように努めます。ご家庭では、お子さんが自分の思いや考えを安心して話せる時間をつくっていただくことが、お子さんの自信を育てることにつながり、学校でも力を発揮するもとになると思います。

今年度は残り一か月ですが、保護者や地域の皆様のご理解・ご支援のもとで、教育活動を実践することができましたことに感謝申し上げます。

天童交歓行事

姉妹校交流担当

３月１９日（土）～２１日（月）に、山形県天童市立干布小学校の６年生が四谷にやってきます。夏の交歓行事では天童の方々に温かくむかえていただきました。春は四谷小の子供たち、教員、地域の方々で協力して天童のみなさんをお迎えします。

子供の期待の声です。

・天童のみなさんは、温かく歓迎してくださったので、四谷小も感謝の気持ちをこめてお迎えしたい。
・四谷小に来た時に、干布小学校のみなさんが「わぁー！楽しそうで明るい学校だな。」と言ってもらえるように楽しくお迎えをしたい。
・夏、家に泊まらせていただきお世話になったので、春はそのお礼をしっかりしたい。
・四谷小学校も干布小学校も、思い出に残るような体験をしていきたい。
・東京を好きになってもらい、３日間ずっと楽しく過ごしてほしい。干布小学校のみなさんを楽しませたい。
・夏の天童交歓会に出席していないので、仲良くなれるか分かりませんが、干布小学校のみなさんとたくさん話し、仲良くなりたい。
・天童の方々は東京に行きたいとよくおっしゃっていたので、天童の方々が楽しめる場所に行って楽しみたい。
・夏にとてもお世話になったので、感謝の気持ちを伝えられるようにしたい。そして、「また東京に来てみたいな。」と思ってもらえるようにする。
・夏に天童でお世話になったので、天童のみなさんに楽しんでいただけるようにしたい。

高学年に向けて

４年２組担任

３学期の初めに４年２組の子供たちと出会い、早くも残り１か月となりました。

２組は「温かい」という言葉がぴったりなクラスです。クラスで誰かが「困ったな」と思うことがあると、すぐに「助けるよ！」とどこからか必ず温かい声が飛んできます。「困った時はお互い様」と誰かのために働くことが、自分からすすんでできる子供たちです。また、男女の仲もとてもよく、休み時間や放課後になると、クラスの仲間と元気に遊ぶ姿がよく見られます。

子供たちも、あと１か月で四谷小学校の高学年になります。４年２組で過ごす時間を大切にしながら、高学年に向けてこれからも３０人全員でめりはりのある生活を送っていきたいと思います。

卒業を迎えて

６年１組担任

早いもので卒業式までの残りの登校日は、１８日間となりました。６年生の子供たちは、先日行われた「6 年生を送る会」で、全校の児童から感謝の思いを伝えられ、下級生との仲良し給食も楽しく終えました。これからの１８日間でさらに「もう卒業だ」と実感していくことでしょう。

６年生の担任として子供たちには、残り僅かな日々ではありますが、自分たちが過ごした学校やお世話になった方々に感謝の思いをもって過ごしてほしいと思います。そして、感謝の思いは言葉だけではなく、その気持ちが伝わるような行動で示してほしいと願っています。「教室や廊下の掃除を一生懸命にする」「気持ちの良い挨拶をして下級生の模範となる」など、卒業まで最高学年としてお手本となって過ごしてほしいと思います。

楽しい春休みを過ごすために

生活指導主任

春休みは、進級や進学に向けて子供たちの気持ちも新しい生活に向けて緩みがちになってしまいます。このような時期に怖いのが交通事故です。また、暖かくなり地域の公園など外で遊ぶ機会も増えると思います。事故や事件に巻き込まれないようにするだけでなく、公共の場ではマナーを守って過ごすようご家庭でもお話しください。

春休みの過ごし方については、気を付けてほしいことをそれぞれの学年の保護者会で担任からお話させていただきます。新しい学年を、事故無く元気に迎えるために、お子さんとぜひ以下のことを家族で話し合ってください。

①交通事故に遭わないために

・自転車に正しく乗り、交差点では一時停止をする。
・曲がり角や交差点では、飛び出しをしない。

②事件に巻き込まれないために

・遊びに行く時は、行き先・帰る時刻・一緒に遊ぶ友だちの名前を告げる。
・何かあったら、「助けてー！」と大声で叫ぶ。

学校から配布します「春休みの過ごし方」のプリントをぜひお読みください。